

| | |
|-----------------------------------|--|
| 令和3年度 第2回 横浜市鶴見スポーツセンター指定管理者選定委員会 | |
| 日 時 | 令和3年8月11日（水）10時00分から11時30分まで |
| 開催場所 | 鶴見区役所 6階会議室 |
| 出席者 | 林委員長、烏田委員、巴委員、望月委員、廣崎委員 |
| 欠席者 | なし |
| 開催形態 | 公開（傍聴者5名）※一部非公開 |
| 議 題 | 鶴見スポーツセンターの指定管理者の候補者の選定について （応募団体によるプレゼンテーション、質疑応答、審査、採点） |
| 決定事項 | 鶴見スポーツセンターの指定管理者の候補者として「公益財団法人横浜市スポーツ協会」を選定した。 |
| 議 事 | <p>1 定足数及び会議の公開の確認【公開】 委員5名が出席しており委員会が成立している旨、事務局より報告。 第1回委員会で決定頂いたとおり、応募団体によるプレゼンテーションと質疑応答については公開で実施し、その後の審査・採点については非公開で実施する旨、確認。</p> <p>2 応募状況の確認【公開】 応募者説明会・見学会への参加状況及び、応募状況について事務局より報告。 また、応募団体が暴力団またはその構成員の統制下にある団体でないこと、市税の納付が確かに行われていることについて確認済みの旨、事務局より報告。</p> <p>3 委員会のスケジュールについて説明【公開】 資料「タイムスケジュール」に基づき事務局より説明。</p> <p>4 鶴見区民文化センターの指定管理者の候補者の選定について (1) 応募団体（公益財団法人横浜市スポーツ協会）によるプレゼンテーション【公開】 (2) 質疑応答【公開】 （委員）20代から40代のスポーツ活動が低迷している状況があるので、これを活性化させる具体的な方法について伺いたい。 （団体）赤ちゃんとお母さんの相互保育フィットネスとして、小さなお子様連れでも参加できるような教室を開催しようと考えている。 相互保育とは、片方でお母さん達がヨガをやっている間、片方のお母さん達が、ヨガをしているお母さんのお子様の保育をしていただくような方法だ。 また、スポーツセンターへの移動時間の確保が難しい仕事が忙しい方などに対して、自宅でも参加できるオンラインレッスンを開催する。段々慣れてきたら、直接スポーツセンターにお越しいただくことを考えている。</p> |

そのほか、より参加しやすくするためにサブスクリプションのサービスも考えており、定額料金制で1か月の料金を設定して教室にたくさん参加していただくようなプランも考えている。

(委員) 高齢者の利用を継続・活性化するための具体的な方法についても伺いたい。

(団体) 現在も行っているが、次期よりさらに力を入れたいと考えているのが、スポーツ医科学センターの知見とノウハウを活用し、心臓のリハビリテーションなどの内科系運動療法と整形外科系運動療法を取り入れることだ。

心臓のリハビリテーションは、近隣の東部病院と連携し、リハビリを卒業した方に参加いただく事業や、特定保健指導の受け入れ、持病があった方に運動を続けていただくことを目的とした事業を展開する。また、整形外科系のメディカルエクササイズとして、ロコモティブシンドロームを防ぐための運動を用意している。

(委員) 若い世代の利用者が増えたときに現在利用している高齢利用者との施設利用の調整についても伺いたい。

(団体) 教室については、利用者のバランスを見ながら開催していく。

(委員) 障害者スポーツの推進について、区民にもっと身近なスポーツの施設である地区センターとの連携についてどのように考えているか。

(団体) 現在ボッチャが特に人気がある。地区センターやケアプラザでもこの会議室くらいの広さがあれば十分できる事業なので、派遣事業の提案も検討している。

(委員) 600万円の増収を考えているというが、金額の根拠を教えてください。

(団体) 働く世代・子育て世代へのサービス、指定運動療法施設としてのヘルスプロモーション等で収入増を目指している。

(委員) 避難所対応等の緊急時の対策について、スポーツセンターは区指定の避難所にはなっていないと思うが、通勤途中での帰宅困難者が来た場合にどのような対応をするのか。

(団体) 一時滞在施設として開所した場合、施設内で待機している間は不安を感じられると思うので、災害情報をロビーのモニターで流すなど、対応を考えている。

(委員) 一度避難者を受け入れてしまうと、その後にスポーツセンターとして開所するので避難者に退所いただくことをお願いするのは難しいと思う。一時滞在施設として開所したとして、それ以降の避難所としての継続を

どうするか考えていかなければならないと思う。

(委員) 先ほどの若い世代へのアプローチの中であった相互保育だが、お母さんの参加者と一緒にお子様も同じフロアにいるということか？

(団体) スポーツセンターにキッズルームという部屋があり、一般の団体には開放していないので、そういった教室を開催した際に活用し、預かり場所としてお貸ししようと思っている。

(委員) 専任の保育士がいるのか？

(団体) 相互フィットネスに関しては、参加者のお母さん同士でお子様を見ていただくが、現在スポーツセンターでやっている教室によっては託児専門の保育士さんがいて、その方にお子様の面倒を見てもらっている。

(委員) 風水害についてだが、鶴見川が近くにある。AEDでの心肺蘇生の研修は多く実施していると思うが、土砂災害のように想定外の災害も起こり得る。利用者がいるときに、鶴見川が氾濫し浸水した場合の訓練はしているのか？

(団体) 風水害の避難訓練はやっていないが、先日、開催された区役所での研修を踏まえ、鶴見スポーツセンターが浸水した際のシミュレーションをし、それを元に様々なパターンの避難を想定するなど対応していきたい。

(委員) 利用者がいる時の避難訓練はやっているか？

(団体) 昨年度はコロナの関係でできなかったが、3年前はお客さんと一緒に避難訓練を行った。

(委員) 人の流れ等を踏まえて、避難訓練のマニュアルを作られると良いと思う。

(委員) スポーツセンターには出張で、様々な地域活動にご協力いただいております。大変ありがたく思っている。提案については中身が非常に整理されていて良いと思っているのだが、さらにスポーツを通して持続可能な開発目標への貢献についてもさらに内容を詰められると良い。様々な分野があると思うが海洋汚染が中でもひどいと思う。これはプラスチックが原因とされているから、プラスチックを減らす努力、例えば自動販売機の中に入っているプラを紙容器に変えるなど、コストの問題もあるしすぐ実現は出来ないと思うが、PRしながらやってくれると弾みがつくと思うので頑張ってほしい。

(委員) ヘルスプロモーション事業は、今までずっと継続してやられていた事業という理解で良いか？新規に何か始めるのか？

(団体) 内科系と整形外科系の運動療法のプログラムを現在も行っているが、さらに強化したいと考えている。その内、「心臓リハビリテーション推進事

| | |
|-----|---|
| | <p>業」と「特定保健指導の受け入れ」は新規の事業となる。</p> <p>(委員) スポーツ医科学センターで行っているような知見やノウハウを導入するというが、それには人も場所も必要だと思う。ヘルスプロモーション事業で収入が増えるとのことだが、支出も増えるのではないか。その辺の整合性は大丈夫なのか。事業をどのくらいのボリューム感で考えているのか。</p> <p>(団体) 内科系運動療法については施設に健康運動指導者・健康運動実践指導者がいるので、その指導に基づいて実施していく。整形外科系運動療法はスポーツ医科学センターの「MEC (メック)」という資格があり、それに合格した者が指導を行う。</p> <p>コストについては、数値目標に合うように参加費を調整しつつ対応していきたい。</p> <p>(委員) 現在使用している物品の修繕や購入も忌憚なく対応していただきたい。物品を借りる際に破損等がある場合もある。そういった細かいところまで配慮すればさらに良くなると思うので、よろしく願いたい。</p> <p>(3) 団体の財務状況について【非公開】 財務状況が健全である旨、廣崎委員から報告</p> <p>(4) 審査結果【非公開】 「公益財団法人横浜市スポーツ協会」が委員 5 名の合計得点で 1,096 点/1,175 点を獲得した。最低基準点 (705 点) を満たしているため、同団体を指定管理者の候補者として選定する。</p> |
| 資 料 | タイムスケジュール |